

第5回 訪問看護主任研修

「コミュニケーションについて」開催しました

開催日 2024年1月20日

暦の上ではちょうど「大寒」の寒さの中、訪問看護主任研修を開催しました。外の寒さに負けずに、訪問看護の主任たちは熱く学んできました♡
講師は今回で3回目となります、藤井 基博先生（医師部事務局長/シンクタンク未来教育ビジョン事務局長/薬剤師）です。日々、主任として、忙しい中でもチームをまとめていく上でコミュニケーションスキルは重要だということを痛感する中・・・事前アンケートでは、それぞれの悩みがたくさん出てきました。

伝えつもりが正しく伝わっていない・・・
伝わっていると思い込んでしまっていた・・・
なんとなく話し終えた後にモヤモヤする・・・
言い返されてしまった・・・
こちらの意図が伝わらない・・・
主任であっても苦手な人もいます・・・



様々なモヤモヤエピソードを交えた事前アンケート・・・このエピソードを400字にまとめて研修に臨みました。

当日、藤井先生の講義にて、

1. リーダーシップとは、なにか
2. コミュニケーションモデル
3. コーチングの手法
4. 伝え方のスキル
5. リーダーの信頼を支える3つの力

これまでのように、穏やかな口調で教えてくださいました。

そしてグループワーク。2人一組でそれぞれの事前課題を読み合わせます。



新任の主任もベテランの主任と一緒にになり、エピソードをしっかり聴く、気になったところをお互いに返していくというワークを実施。聴いてもらえているという安心感、こういう風に聞いてもらえたら嬉しいなという実感を得ました。また聴くワークは自分も他者も大切にすることに繋がります。

悩みを主任同士で共有できるとも研修の魅力です。

自分で自分のコミュニケーションの癖を振り返る作業は自分自身と向き合う時間を作ることができ、自分の癖を知っていることは、コミュニケーションにおいて大切であることも学びました。



まとめ・感想

私たちが絶大な信頼を置く藤井先生の研修から大きな学びがありました。

- 意見と事実があることを理解できた。意見に対して反応していたが、事実を踏まえて話していくことを学びました。
- 自分のふつつ、ありがたい姿と相手は違うことを改めて認識できました。
- 合理的判断のみでは人は動かない。相手の思いを知ること、認める事、そのために丁寧に聴くことを学びました。
- 問題解決型思考になりがちだが、自分もチームの一員として一緒に悩んだり、考えていいのではないかと思えました。

これからも訪問看護主任としてそれぞれのステーションで研修で

の学びを生かしていきたいです！